48. 医の基本は予防にあり

います。 申請、 の基本は、 であり、 慣・社会システムを提案・普及させていくこと」を目的に、 とってのいわば たからに他なりません。この考え方は、 われるのかと言うと、博士が東京大学医学部在学中に記し 北里大学北里研究所病院が一般社団法人日本記念日協会に 言うまでもなく北里柴三郎博士は、 **『医道論』** 病気を未然に防ぐこと」と、 2018年に正式に記念日として登録されました。 疾病予防・健康増進を図ることができる新たな生活習 しかし、 伝染病予防と治療に貢献した人物として知られて 人びとが健康を保てるように生命を病気から守 の中で、 **、医の原点、でもあり、** そんな博士が何故〝予防医学の父〟と言 「国の基本は国民の健康にあり、 予防医学の重要性を説い 日本の近代医学の父 生涯にわたって博 北里柴三郎博士に 医学

1892年に博士は「私立伝染病研究所」を設と呼ばれるほど、むしろ感染症分野で果たしと呼ばれるほど、むしろ感染症分野で果たしと呼ばれるほど、むしろ感染症分野で果たし

立すると、所長として伝染病予防と細菌学の研究に尽力。94年にはペストの蔓延していた香港に内務省から調査研究のために派遣され、病原菌であるペスト菌を発見しパンデミックの収束に貢献しました。ただ特筆すべきは、博士はその後も引き続きペスト研究に勤しみ、ペストの定義から感染経路、消毒、診断、治療法に至るまで、ペストの治療と予防に関わる知見を探求し、これらを世界に向けて普及していったことです。こうした博士の振舞いにも、医の基本は予防にありくとする考え方が息づいていたと言えましょう。

由来するもので、

「申請科学的根拠をもった

士が設立した北里研究所の設立日に三郎(1853~1931年)博

防医学の父」と言われる北里柴

医学デー」。この日は

11月5日は

「予防

人生100年時代や健康投資、健康増進、健康寿命の延伸、人生100年時代や健康投資、健康増進、健康寿命の延伸、たかが分かります。

予防医学(医療)を実践されてみてはいかがでしょうか。 世眠や食事、適度な運動等、一人ひとりができるところから、士による *国民の健康への献身* に改めて思いを馳せながら、土による *国民の健康への献身* に改めて思いを馳せながら、土による *国民の健康への献身* に改めて思いを馳せながら、土による。

(JMS主幹・野村元久)

